

▶地域の将来像

～個性豊かなそれぞれのエリアが魅力を輝かせ、つながり、山城地域全体が均衡ある発展～

- 未来に夢がもて、末永く住み、働き、事業を営み続けることができる地域
- 互いに認めあい、大切にし合う交流と絆で結ばれた地域
- 豊かな自然、歴史、文化が生み出す創造と活力に満ちあふれる地域

▶施策の基本方向

1 新たな国土軸が横断する立地ポテンシャルを活かした、山城地域の均衡ある発展と府域の発展を牽引する地域づくりの推進

【現状】

- ・全国トップクラスの人口増エリアと成熟しつつある都市エリア、地域整備が遅れてきたエリアそして深刻な過疎高齢化が進行するエリアが混在
- ・これまで地域整備が遅れてきた木津川右岸地域等においても、新名神や関連道路整備をばねに広域的な波及効果が期待できる新市街地や施設整備のプロジェクトが始動

【課題】

- ・広域的な波及効果を最大化する木津川右岸地域整備の推進調整
- ・木津川右岸エリアの開発整備と「けいはんな学研都市」の一層の発展がいわば車の両輪となって山城地域・京都府域の発展を牽引する「京都イノベーションベルト」の形成

【具体的施策（例）】

- ・地域特性に応じた山城の地域づくりの推進

1-1 木津川右岸地域整備の計画的推進

- ・城陽市東部丘陵地の新市街地整備等の促進
- ・地域全体の発展を牽引するシンボリックな土地利用の推進と企業の誘致
 - 〔地域と共存、波及効果をもたらす大型のアウトレットモールの整備
 - 〔人手不足時代を克服する最先端のICTを活用した次世代型物流拠点の整備
- ・宇治田原 IC 周辺等の開発や城陽井手木津川線（宇治木津線）、宇治木屋線等の沿道整備を適正誘導
- ・新たな開発整備が広域的な波及をもたらすようマネジメントする視点からの新しい仕組みづくりの検討
 - 〔府や市町村協働による情報交換や機能分担の調整のための体制づくり
 - 〔開発調整事務のワンストップ対応など
- ・関連公共インフラ整備の推進（宇治田原山手線、国道 307 号(市辺～奈島) 等)

1-2 けいはんな学研都市と右岸整備が車の両輪となった京都イノベーションベルトの形成

- ・多くの企業・研究機関が進出、用地がほとんどない状態の学研都市において、世界水準の企業・研究機関の集積や既存都市基盤等を広く活かすとともに、さらなる整備を促進
- ・京都経済を牽引するイノベーションベルトの一翼を担う学研都市の機能充実やスマートシティづくりとともに、さらなる集積促進（南田辺・狛田地区、木津東地区の整備）
- ・関連公共インフラ整備の推進（学研都市クラスター間や木津川左岸と右岸など、地域間交流・地域内循環を促す基盤づくり、北陸新幹線の延伸を見据え木津川右岸から新駅への新たな東西軸の検討等）

1-3 相楽東部の未来づくりの推進

- ・新たなネットワークによる時間距離短縮効果を活かした魅力ある交流・地域振興拠点の整備や企業立地促進
- ・宿泊施設の誘致等により雇用の場の創出、農家民宿の拡充、魅力ある特産品開発や食の周遊促進
- ・関連公共インフラ整備の推進（宇治木屋線(犬打峠)、国道163号等）
- ・「相楽東部未来づくりセンター」の機能強化

1-4 成熟しつつある都市エリアの都市機能等の充実

- ・河川、道路等の都市基盤整備や駅周辺整備等のまちづくりと連携した都市機能充実
- ・大河ドラマ等と連携した地域の魅力発信による観光誘客と、ホテル誘致や特産品開発等
- ・共生型地域づくりや活力を生み出すまちづくりを市町村や地元企業と連携して推進
- ・市町村のまちづくりの意向に沿った土地利用の推進
- ・関連公共インフラ整備の推進（府道西京高槻線、府道向島宇治線、いろは呑流トンネル南幹線等）

2 豊かな暮らしを支える安心・安全の確保

【現状・課題】

- ・度重なる自然災害への脅威が強まる中、天井川の安全対策、災害対応力を高める道路整備・防災対策とともに、住民自らが身を守れるよう、地域防災力を高めるソフト対策も必要性が増している

【具体的施策（例）】

- ・集中豪雨・土砂災害対策のための河川整備、道路事業や内水対策の着実な推進
- ・防災重点ため池のハザードマップ作成など災害に強い山・森・地域づくり
- ・内水被害軽減のため国とも連携した排水ポンプ車の機動的運用、消防団の組織強化に向けた市町村への支援、タイムライン作成など自主防災組織に対する支援や要配慮者への支援充実
- ・地域ごとのきめ細かな防災体制構築、振興局の機能強化も含めた「山城モデル」のソフト対策強化

3 子育てや長寿への安心につつまれ、健やかに人生を楽しむことができる、互いに支えあう多文化共生のコミュニティに向けて

【現状・課題】

- ・地域ごとに出生の状況が大きく異なり、地域の実情に応じた課題へのきめ細やかな対応が必要
- ・医療保健関連のインフラに恵まれた地域もある一方、人的資源等確保に苦む地域も少なくない
- ・健康寿命延伸が全国的課題である中、山城地域では健康づくりへの関心は高いとはいえない状況
- ・人生100年時代を迎え、文化、スポーツ等による生きがいがづくりのニーズが高まっている
- ・人権問題の複雑・多様化や、地域コミュニティの希薄化が山城地域でも顕在化

【具体的施策（例）】

- ・市町村と連携した妊娠・出産・子育ての支援と併せ、「こども発達支援センター」を核に専門的支援
- ・「認知症総合センター・ケアセンター」のノウハウの横展開や医療・保健分野での市町村バックアップ
- ・団塊世代が後期高齢者となる2025年を見据え、健康寿命延伸のための介護予防と健康づくりの推進
- ・きめ細やかな人権尊重の啓発、男女共同参画の推進、地域のつながりや支えあいの活動支援、地域の伝統文化を子どもたちが体感する機会や世代間交流・アクティブシニアの活躍拠点の創出
- ・移住定住を促すような魅力ある住まいの提供や、地域での事業活動を支える物流等のサポート、暮らし続けるための生活支援（買い物、移動）や子育て支援
- ・地域内外にファンを広げ学生、若者など幅広く地域づくりに参加する関係人口拡大の仕組みづくり

4 やましろ産業を地域の未来を支える柱へとパワーアップ

4-1 やましろ産業のイノベーション

【現状・課題】

- ・木津川左岸地域では、既存企業が高度化・拡大をめざし、人材と事業用地の不足が深刻化
- ・新名神等の整備が進む木津川右岸地域では、企業や物流拠点の誘致・整備による経済効果の域内全体への波及が課題
- ・世界レベルの研究機関・企業が集積する学研都市で地元企業が交流・連携できるマッチングが必要
- ・人口減少が深刻な相楽東部地域では、関係人口拡大と併せて、雇用・就労の場づくりが課題

【具体的施策（例）】

- ・地域特性や課題に応じたイノベーション支援
 - 先端技術やシェアリングエコミーを活用したイノベーション創出や企業と学生、企業間等のマッチング機会の充実等
 - 学研都市研究機関等と山城企業との交流・共同研究促進のためのプラットフォーム構築
 - 中山間地域におけるコワーキングスペースへのベンチャー等の誘致 など

4-2 「お茶の京都+α」による農林業のステップアップ

【現状・課題】

- ・農業の担い手の後継者難や人手不足が深刻な状況
- ・人材確保と生産性向上が課題
- ・販売好調な九条ねぎのさらなる生産拡大と併せ、これに続くネクストブランドの育成が必要
- ・農地の確保、茶畑の保全、地産地消の推進、お茶の消費拡大に向けた新たな取組が課題

【具体的施策（例）】

- ・宇治茶の生産振興・消費拡大に向けてお茶の機能性の研究等の推進
- ・地元食材等による特産品等の開発と新たな宿泊施設等での流通・販売によるサプライチェーン構築
- ・九条ねぎの生産エリア拡大（相楽東部地域等）やえびいも等の新規ブランド化・生産振興・販路拡大
- ・AI、IoT等の先端技術や地元企業の高度な技術も活かしたスマート農業の実装化 など

4-3 周遊・滞在型やましろ観光の新展開

【現状・課題】

- ・「お茶の京都」「竹の里・乙訓」の成果等により観光入込客、消費額は増加
- ・京都市内と比較すると1割未満の水準にとどまる、一人当たり観光消費額の上げが大きな課題

【具体的施策（例）】

- ・観光消費額引上げにつなげる多様な宿泊・飲食施設の誘致・開業促進と情報発信
- ・DMOを核に観光資源の掘り起こし、磨き上げ・旅行商品化・販売促進
- ・木津川沿いをサイクリングで周遊（右岸・左岸）できるよう環境整備やPR促進
- ・インバウンドの域内周遊に対応するための多言語対応や産業観光、ナイトリズム等新たな視点の観光
- ・観光客の域内周遊に向け、奈良県（柳生）や三重県（伊賀）をはじめとする広域連携・協働 など